

「慶應義塾大学先端研究教育連携シンポジウム」を開催します
～スタートアップが飛び出す、慶應義塾×鶴岡市×川崎市のタウンキャンパス～

慶應義塾大学は、自治体、大学、スタートアップ、企業関係者を対象に、自治体と強いパートナーシップを築き展開している3つのタウンキャンパス「新川崎」「殿町」「鶴岡」の成功事例を紹介するとともに、さらなる連携強化とイノベーション創出につなげるため、シンポジウムを開催します。

同大学は、2000年に新川崎タウンキャンパス（川崎市幸区）を、2016年に殿町タウンキャンパス（川崎市川崎区）を開設し、川崎市とともに産学官連携による産業や科学技術の振興等に取り組んできました。また、2001年には、山形県鶴岡市に鶴岡タウンキャンパスを開設しています。

川崎市と鶴岡市はいずれも1924年に誕生しており、今年度、市制100周年を迎えています。

1 開催概要

日時：令和7年1月27日（月）

第1部 開会挨拶・自治体代表挨拶・キャンパス紹介・パネルトーク・閉会挨拶
13時00分から16時00分まで（現地会場及びオンライン）

第2部 鶴岡サイエンスパーク見学
16時30分から17時15分まで（現地会場のみ）

会場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール（山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2）
オンライン（ハイブリッド開催）

2 プログラム

【第1部】（現地会場及びオンライン）

時間	内容	登壇者
13時00分～ 13時05分	開会挨拶	慶應義塾 常任理事 <small>あまが い まさゆき</small> 天谷 雅行（*）
13時05分～ 13時15分	自治体 代表挨拶	鶴岡市長 <small>みなかわ おさむ</small> 皆川 治（*） 川崎市長 <small>ふくだ のりひこ</small> 福田 紀彦（*）
13時15分～ 14時15分	キャンパス 紹介	鶴岡タウンキャンパス 慶應義塾大学 先端生命科学研究所長 <small>あらかわ かずはる</small> 荒川 和晴 殿町タウンキャンパス 慶應義塾大学 殿町先端研究教育連携スクエア 副スクエア長 <small>なかむら まさや</small> 中村 雅也（*） 新川崎タウンキャンパス 慶應義塾大学 ハプティクス研究センター長 <small>おおにし こうへい</small> 大西 公平

時間	内容	登壇者
14時30分～ 15時55分	パネルトーク	<p>モデレーター：慶應義塾大学 殿町先端研究教育連携スクエア 特任教授 吉元 良太</p> <p>パネリスト：</p> <p>Spiber 株式会社 取締役兼代表執行役 菅原 潤一</p> <p>株式会社メタジェン 代表取締役社長 CEO 福田 真嗣</p> <p>株式会社 MOLCURE 代表取締役 CEO 兼 CSO 玉木 聡志</p> <p>鶴岡市 商工観光部次長 坂口 礼奈</p> <p>川崎市 臨海部国際戦略本部長 玉井 一彦</p> <p>慶應義塾大学 先端生命科学研究所長 荒川 和晴</p> <p>慶應義塾大学 ハプティクス研究センター長 大西 公平</p>
15時55分～ 16時00分	閉会挨拶	慶應義塾大学 先端生命科学研究所長 荒川 和晴

(*) はオンライン登壇

【第2部】(現地会場のみ)

16時30分から17時15分 鶴岡サイエンスパーク(山形県鶴岡市) 見学

3 対象

自治体、大学、スタートアップ、企業関係者 ほか

4 参加申込

参加費：無料

申込方法：慶應義塾大学先端生命科学研究所 HP で申込み

【申込 URL】

<https://www.iab.keio.ac.jp/news-events/2024/12111517.html>

定員・締切：現地会場 定員 80 名(先着順) 締切：1/23(木) 17:00

オンライン 定員 300 名 締切：1/27(月) 12:00



申込みページ

5 主催

主催：慶應義塾大学 先端研究教育連携スクエア

後援：山形県、鶴岡市、神奈川県、川崎市

協力：慶應義塾大学イノベーション推進本部、公益財団法人川崎市産業振興財団

問合せ先

川崎市臨海部国際戦略本部成長戦略推進部 園田

電話：044-276-9207



慶應義塾大学先端研究教育連携シンポジウム

事前申込制

2025.1.27 月 無料

第1部 13:00 ▶ 16:00 第2部 16:30 ▶ 17:15

現地会場 定員 80 名 (先着順)

締切: 1/23(木) 17:00 ※定員に達し次第、締め切ります

オンライン 定員 300 名

締切: 1/27(月) 12:00

会場 鶴岡サイエンスパーク内
鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール
+ オンライン (ハイブリッド開催)
山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2

対象 自治体、大学、スタートアップ、企業関係者 ほか

概要 地域・企業・大学の連携拠点として、慶應義塾が自治体と強いパートナーシップを築き展開している3つのタウンキャンパス「新川崎」「鶴岡」「殿町」の成功事例を紹介します。大都市圏における産学官連携と地方圏における産学官連携、それぞれの面白さ、スタートアップ創出の現状を、大学・自治体・企業からの参加者がディスカッションを通して紹介し、さらなる連携強化とイノベーション創出につなげます。

大学と自治体の

パートナーシップ

スタートアップが飛び出す、

慶應義塾×鶴岡市×川崎市のタウンキャンパス

鶴岡

タウンキャンパス

2001年、先端生命科学研究所を開設し、山形県・鶴岡市・慶應義塾の3者協定下で展開しているハイオサイエンスの研究開発拠点

新川崎

タウンキャンパス

2000年、川崎市との協定に基づき開設した、産官学連携による研究開発拠点

殿町

タウンキャンパス

2016年、ライフサイエンスと地域連携を軸に開設した、学部横断型の先端研究を推進するオープンイノベーション研究開発拠点

慶應義塾が展開している3つのタウンキャンパス



主催： 慶應義塾大学 先端研究教育連携スクエア
後援： 山形県、鶴岡市、神奈川県、川崎市 (予定)
協力： 慶應義塾大学イノベーション推進本部
公益財団法人川崎市産業振興財団

申込はこちら



第1部(現地・オンライン)

(*オンライン登壇)

13:00-13:05
開会挨拶

慶應義塾 常任理事 天谷 雅行(*)

13:05-13:15
自治体代表挨拶

鶴岡市長 皆川 治氏(*)
川崎市長 福田 紀彦氏(*)

13:15-14:15
セッション1
キャンパス紹介

慶應義塾大学の3つタウンキャンパス

①13:15-13:30

「地球を救う慶應義塾大学先端生命科学研究所の挑戦」

鶴岡タウンキャンパス 先端生命科学研究所長
大学院政策・メディア研究科 教授 荒川 和晴

②13:30-13:45

「世界に貢献するライフサイエンス・再生医療のオープンイノベーション拠点」

殿町タウンキャンパス 殿町先端研究教育連携スクエア 副スクエア長
医学部整形外科学教室 教授 中村 雅也(*)

③13:45-14:00

「新川崎発リアルハプティクスが拓く産官学連携」

新川崎タウンキャンパス ハプティクス研究センター長
新川崎先端研究教育連携スクエア 特任教授 大西 公平

14:10-14:15 質疑応答 14:15-14:30 休憩

14:30-15:55
セッション2
パネルトーク

「スタートアップが飛び出す、 慶應義塾×鶴岡市×川崎市のタウンキャンパス」

モデレーター:慶應義塾大学 殿町先端研究教育連携スクエア特任教授 吉元 良太
パネリスト:

- ・Spiber株式会社 取締役兼代表執行役 菅原 潤一氏
- ・株式会社メタジェン 代表取締役社長CEO 福田 真嗣氏(鶴岡×殿町 2拠点で活動)
- ・株式会社MOLCURE 代表取締役CEO兼CSO 玉木 聡志氏(鶴岡×新川崎 2拠点で活動)
- ・鶴岡市 商工観光部次長 坂口 礼奈氏
- ・川崎市 臨海部国際戦略本部長 玉井 一彦氏
- ・慶應義塾大学先端生命科学研究所長 荒川 和晴
- ・慶應義塾大学ハプティクス研究センター長 大西 公平

15:55-16:00
閉会挨拶

慶應義塾大学先端生命科学研究所長 荒川 和晴

第2部(現地限定)

16:30-17:15
鶴岡サイエンス
パーク見学

案内: 慶應義塾大学先端生命科学研究所
バイオラボ棟(所長 荒川 和晴) メタボローム解析機器室(准教授 平山 明由)
鶴岡市先端研究産業支援センター
ほか

《問い合わせ事務局》

慶應義塾大学先端生命科学研究所 鶴岡タウンキャンパス(担当:坂井)

TEL:0235-29-0805 Mail:town-campus@iab.keio.ac.jp

アクセス



鶴岡タウンキャンパス



新川崎タウンキャンパス



殿町タウンキャンパス